



～ 夢ひとすじに ～
宮原中だより
学び 磨き 鍛え 羽ばたけ

平成 2 9 年 度 第 8 号
平成 2 9 年 1 2 月 1 日 (水) 発行
さいたま市立宮原中学校
メールアドレス
miyahara-j@saitama-city.ed.jp
ホームページアドレス
<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp/>

「いじめ撲滅、自分たちの可能性を信じて！」

こばやし ひろ とし
校長 小林 広利

平成29年度も3分の2が過ぎ、残すところ4ヶ月となりました。3年生は、進路に向けて、日ごろの授業はもちろん、家庭学習や三者面談などを通して努力を続けています。2年生・1年生は、寒くなってきた季節ですが、学校行事や部活動などに一生懸命に取り組んでいます。今月は、現在までの子どもたちの成長と宮原中の取組の一端を紹介します。

現在、宮原中学校区では、いじめ撲滅に向けた取組として「自分たちの可能性を信じて」と題して、「みんなでSmile大作戦」を関係小学校と共に実行中です。これは、一つには「ありがとうの木」の拡大、もう一つは、「世界の言葉でハイタッチ挨拶運動」の実施です。いずれも子どもたちの発案です。今、廊下には「ありがとうの木」が模造紙に描かれて貼られています。生活の中で「ありがとう」と思えた内容を木の実に記入して貼っていくという取組です。たくさんの木の実が、ありがとうの木に実っていく様子を見てみると清々しい気持ちになります。「世界の言葉でハイタッチ挨拶運動」では、12月は、韓国語の「アンニョンハセヨ」（おはよう・こんにちは）でハイタッチです。平成29年8月に行われた「さいたま市いじめ防止シンポジウム」でご講演された東京聖栄大学 岡田 弘 教授から、「ふれ合いをすることで脳内ホルモンのオキシトシンが増える。オキシトシンは絆ホルモンとも呼ばれている」と教えていただき、宮原中学校区では、あいさつ運動を強化することになりました。朝、登校してくる生徒たちを迎えるのは、生徒会本部役員、学級委員会、生活委員会の皆さんと先生です。このような取組で、宮原中学校区からいじめがなくなり、宮原中学校区に笑顔とあいさつがあふれていっばいになることを期待しています。



【ハイタッチ挨拶運動】

朝読書の時間には、本に集中し静かに読書続ける生徒が多いことは、本校のよき伝統です。読み聞かせボランティア「星とたんぽぽ」の皆様には、大変お世話になりありがとうございます。また、授業では、生徒の理解度にあったプリントを用意したり、分かりやすいピクチャーカードを使ったり、50インチのテレビでノートや実験結果を映したりと、工夫した分かりやすい展開になるように努力しています。しっかり声を出して単語の発音練習をする生徒、手を挙げて発言する生徒、協力して班活動に取り組む生徒、自分の感性を作品に反映する生徒など学習に前向きに取り組む姿にエールを送ります。先生たちも頑張りますので、生徒の皆さんも授業を大切に家庭学習も習慣化していきましょう。

11月30日には、学校保健委員会が開かれ、本校学校薬剤師の 米倉 昌毅 様から「感染予防について」のご講話をいただきました。ありがとうございます。また、その会の中で、保健委員会の生徒たちが、本校生徒の心の健康状態についてのアンケート結果と全国調査との比較を発表してくれました。宮原中の生徒は全国調査と比較して「自己肯定感が高い」「今興味をもって夢中になっていることがある」「今頑張れば将来うまくいくと思っている人が多い」「学校が楽しい」「心を打ち明けられる友達がいる」「人に乱暴な言葉や汚い言葉を使ったりする人が少ない」「親の言うことを聞かない人が少ない」「友だちとの関係でイライラしている人が少ない」などの傾向があったそうです。

思春期は、友人関係や家族関係、勉強や部活動など様々な悩みを抱える時期でもあります。生徒一人ひとりが輝き未来に向かって羽ばたくために、さらに一層、保護者・地域の皆様と共に子どもたちの成長を見守り、子どもたちに寄り添った適切な指導を推進してまいります。今後とも、本校教育活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。